

5月21日 全社職場代表協議会開催

当社は、「従業員代表制度」を採用し、年2回（5月・10月）開催される全社職場代表協議会で、労使間の協定の締結・運用、各種交渉、調整等を行っています。

今回の協議会は、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、滋賀・愛媛・石川・福井の拠点をオンラインでつないで開催しました。

協議会では、まず経営陣から会社の運営や労働時間管理の状況等についての報告がありました。その後、各職場で出された会社に対する要望や質問事項について、職場代表委員と経営陣とで活発な意見交換が行われました。

全社の協議会は、文字通り全社レベルで解決すべき事柄について協議し、全社横断的に労使間のコミュニケーションを図ることのできる場として、社内でも重要な位置づけの会議となっています。

特に今回は、従業員側からの質問・要望として、新型コロナウイルス関連の質問、フレックス勤務・時間単位年休等の質問がありました。会社としても、従業員の声を真摯に受け止め、検討の上、対応することを職場代表委員へ伝えました。今後も継続的に従業員側とコミュニケーションを図り、より良い職場環境づくりを行っています。

（担当部署：総務部 Tel:077-534-0956）



4月22日 東レエンジニアリンググループ内報告会での発表

東レエンジニアリング（以下T E K）グループ内の技術開発やものづくりに携わる部署による報告会が、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で開催され、当社からは機器事業部機器部が、「スリットダイ製作の改善活動－事業の最適化に向けて－」と題した報告をしました。

当部は、フィルム製膜用口金や塗工装置（コーター）用スリットダイなどの精密加工部品を製作しています。

今回の報告会では、スリットダイ製作について、お客様からの高精度加工の要求を満たし、効率的に作業を進めるために行っている改善について事例を交えて報告しました。出席した役員からはT E Kグループのものづくりを担う部署として、的確に改善ポイントを見つけ、成果が出ていることを評価していただきました。今後もメンバー一丸となって工程の自動化、リードタイムの短縮など課題の克服に努めます。



（担当部署：機器事業部 Tel:077-533-3101）

プラント事業部 施工管理の ICT 化の取り組み

プラント事業部では施工管理の ICT 化を促進させています。まだ初期段階ですがタブレットやクラウドサーバーの活用により、生産性の向上を図っています。

現在、東レグループの曾田香料(株)／岡山化学工業(株)様の案件をモデルとして以下の通り進めています。

従来、現場管理者は、紙の設計図面を持ち歩き、変更があれば修正部分を図面に追記し、事務所に戻ってから修正図面を PDF ファイル化して関係者へメールで配信していました。タブレットの導入により、タッチペンで図面にコメントを入れ、クラウドサーバーに保存する事が可能になり、現場に居ながら、リアルタイムな情報共有が可能になりました。タブレットは現場で作業員に 3 D 図面を見せながら説明する際にも活用していて、作業の手戻りを無くすことに役立っています。

また、配管製作の協力会社との図面のやりとりにもクラウドサーバーを活用して製作図面をタイムリーに配信し、プレファブ製作のスピードアップを図っています。

さらに現場管理者が撮影した 360 度写真データをクラウドサーバーに保存することで、社内にいるスタッフが工事の進捗をリアルタイムで把握することができるようになりました。

今後は、現場に WEB カメラを設置し、安全管理の目を増やす事や、工事管理のアプリケーションの導入により、更なる施工管理の ICT 化を促進していきます。

(担当部署：プラント事業部技術 1 部Tel:077-534-2188)



タブレットと 3 D 図面（イメージ図）

プラント事業部では、3 D 配管設計技術向上の取り組みも進行中です。

配管設計者だけでなく、電計設計者、機電施工管理者を対象に、社内講師による 3 D 設計の各種講習会を計画し、現在はビューアソフトである Navisworks の講習を実施中です。

